

有田南

題字 森本好典

会長 森本好典
幹事 平博
クラブ会報委員長 橋本明



地区・ 第2640地区
クラブ名・ 有田南ロータリークラブ
例会日・ 毎週火曜日 12:30~13:30
例会場・ 湯浅水産物商業協同組合2F
事務局・ 同上
住所・ 〒643-0004
和歌山県有田郡湯浅町湯浅2962
TEL.・ 0737-63-5757
FAX.・ 0737-63-5134
URL・ <http://www15.ocn.ne.jp/~asrc/>
E-Mail・ aridasrc@skyblue.ocn.ne.jp
創立年月日 昭和52年6月29日

2004-2005年度 国際ロータリーのテーマ

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のお知らせ

2004年 9月28日 第1325例会

ソング「手に手つないで」

クラブフォーラム

情報委員会担当

次回のお知らせ

2004年10月 5日 第1326例会

ソング「君が代・奉仕の理想」

ゲスト卓話 郷土の語り部

大峰 登 様

2004年 9月21日 第1324例会の報告

- ・点鐘・ 森本 好典 会長
- ・ソング・ 「君が代・有田南ロータリーの歌」
- ・ゲスト・ 第2640地区ガバナー中島 治一郎様
ガバナー補佐 塩路 哲英 様
- ・ビジター 佐藤 栄志 様 (有田2000RC)

会長の時間

会長 森本 好典 君

・9/7の予定だった公式訪問例会は台風18号の襲来で本日に延期をさせて頂きました。皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

・本日は中島ガバナーさん、塩路ガバナー補佐さんには、ご多用のところ仕切り直しの上ご出席を賜り誠にありがとうございます。

・さて、皆様よくご存知のとおり、中島ガバナーにおかれましては1986年~1987年度、ちょうど今から18年前になりますが、中島さんが最初のガバナーをされておられた当時から、当クラブは大変お世話になっております。特に私がよく覚えているのは財団奨学生として英国の大学に留学した高居千華子さんの派遣については、大変なご尽力を頂きました。改めて御礼を申し上げます。私は彼女とは一度グラスゴーでの世界大会の時にロンドンでお会いしましたが、現在でも元気にロンドンで頑張っているようであります。

・ちょうど先週の土曜日に地区財団委員長会議があり、橋本佳委員長さんと一緒に出席してきました。7月に帰国したばかりの4名の奨学生の帰国報告を聞き、感動しました。それぞれが一年間の留学の成果を十分にあげ、立派に成長して帰ってきております。早速、橋本さんのはからいで11

月の財団月間にはそのうちの一人を卓話者として招待する予定になっております。第2640地区で、この30年間に約500名弱の奨学生を派遣し、大きな成果をあげているそうです。従ってこの財団プログラムは、ロータリーが誇れるすばらしいプログラムの一つであり、我々の財産でもあるように思いました。

・今年度に入りちょうど約3ヶ月が経ちました。会員の皆様方からご提案を頂いた活動計画をそろそろ実行に移していただく時期になってきております。ちょうどよい時期に中島ガバナー並びに塩路補佐さんのご訪問を頂きました。一部、計画の成果が增强や財団、米山の方で、出てきております。今後とも計画実行に向けて各委員長さんのご努力をよろしくお願い申し上げます。

・私のクラブ運営方針にも書かせて頂きましたが「100周年」と「クラブ活性化」の2つが今年度の大きな目標です。後ほどのクラブ協議会ではこの2つのキーワードを踏まえて各委員長さん方には、今日一日は頭の中をロータリーでいっぱいにして頂き、それぞれの活動計画を語って頂きたいと思っております。

幹事報告

平田 博己 君

- ・ロータリー米山記念奨学会より
特別寄付領収書
- ・海南東RCより
I. M 第2組開催の案内
- ・海南RCより
例会休会の案内

出席報告

山下 正晃 君

会員総数・ 46名 (出席規定免除者7名)
出席者数・ 34名 出席率 87.18%
先々週出席率 82.05% → 89.74%
メイクアップ 9 / 7 台風のため休会

SAA報告

垣内 欣久 君

- ・中島ガバナーさん、塩路哲英補佐さん本日はご出席賜り誠に有り難うございます。御指導のほどよろしくお願ひします。
- ・田中良典さん(土)(日)の連日にわたる委員長会議にご出席有り難うございました。(森本会長 平田幹事)
- ・本日はお世話になります 佐藤様(有田2000)
- ・中島ガバナーさん、塩路哲英補佐さんご多忙中おいで頂き有り難うございます。
田中君 塩路君 茶売君 垣内君 赤田君
野田富君 坂井敏君 佐々木君 野田知君
平尾君 長崎君 畑中君 平林君 大原君
田伏君 児島君 山本君 宮尾君 坊岡君
濱田君 峠原君 戸田君 星田君 山下君
東君 中君 片山君 金谷君 橋本明君
- ・本日の公式訪問中島ガバナー有り難うございます。先日の財団奨学生のG.S.E.の帰国報告会では、すばらしい若者達に感動させられ良い機会に恵まれました。(橋本佳君)
- ・児島先生にお世話になりました。(大原君)
- ・初期目的達成でき有り難うございました。(中平君)

ゲスト卓話

第2640地区ガバナー

中島 治一郎 様



「プロフィール」

生年月日 1935年6月19日
住 所 大阪府泉大津市松之浜町2丁目
24-3
最終学歴 米国ニューヨーク市コロンビア大学
職 業 ナカボージャパン(株)相談役
ロータリー 1961年泉大津RC入会
歴 現在に至る

今日は！18年前に一度ガバナーをやりまして、今回は再登場です。その頃坊岡さんが会長でしたが、公式訪問が済んだ後も集会をされ、私を講師に迎えて頂きまして、このクラブはロータリーに対して熱心であると認識していました。先ほど会長、幹事さんと懇談致しまして、何か新年度になってご質問がないかと申しましたが、何もないそうで、唯一の悩みの種は、ロータリーの事を熟知して居られる会員が多過ぎる事だと、云われていました。又私は今日で、76クラブの中44番目に訪問したのですが、初めて会員さんが減っていないクラブに出会ったので、大層嬉しく感じました。私の会員増強に対する考え方はこうです。

国際ロータリーの会長さんからガバナーは国際協議会という場で次期会長から何%というターゲットを頂いて地区に持ち帰り、工夫して何等かの形でお伝えすると云う事になります。クラブの会員さんを増やされるのはクラブの皆様以外には、そういう動機を与える事は出来ないのです。第三者が有田南ロータリーの会員さんがこの位にと云ったところで致し方なく、皆様各人が、有田南クラブの会員さんはこの位の数にして、クラブの活性化を計って、地域社会にもこの活性化を及ぼしたいと一生懸命なされる事だと思います。

この18年間で日本の経済も大きく変わって参りました。あの頃有田南ロータリークラブは10周年記念の年でした、経済も右肩上がりでしたが、90年代に入り、がたがたと低下し、2640地区でも底を打ったという感じにはなっていません。ただ紀南の方で世界遺産の登録がなされ、光明が見えて来た様です。

今回何時ものローテーションでなく那智、勝浦新宮のロータリークラブの皆様で、地区大会の面倒をみて頂く事になりました。4月15、16、17日で15日は会長さん達だけですが、16日は新宮市民会館でセレモニー、17日のメイン・イベントは観光を、車コースと歩きコースで、世界遺産を廻って貰おうと企画して居り、これで大いなる感動を持ち帰って頂くと共に、地域の観光業の活性化にも役立ってくれたらと思っています。又大きく変わったのは、日本での会員数が随分減りました。

一時は13万にもう少しと云う所まであったのが今は10万6000人位で2/3になったのです。クラブの活性化は何としても仲間が増える事が一番です。ロータリーが活性化すれば地域の活性化にも普及効果を表します。

日本では員数が中心ですが、アメリカでは違った方向に変わりつつあります。私に云わせると良

くない方向への変わり方だと思います。「ロータリーとは何だ」とアメリカ人に聞くと「奉仕団体だ」と答える。間違いなく奉仕団体ですが、「ライオンズとロータリーとはどう違うか」と云うと答えられる人は一人もいない。ロータリーはライオンズと違って「人作り」に力を入れている。職業奉仕も含めて人作りに力を入れている。

アメリカの様に視点がなくなれば、ロータリーの価値が低下して参ります。日本の3,5倍のロータリーの人口のあるアメリカが何とか、その考え方を方向転換して行って欲しいと思います。

皆様の間では、“I serve” “we serve” 論を戦わせることがあると思います。

6月シカゴで規定審議会が開催されました。その時に第2のモットーである「最も多く奉仕するものは最も多く報われる（英語では He profits most who serves best）」ですが、He から One へ変更するよう理事会で決まりました。

規定審議会では One は、場所によって異なった意味を持つということで、They profits most who serve best となりました。

これには日本の代表議員が早速たちあがりしました。「They は困る。これではライオンズと何も変わらなくなってしまう。“I serve” “We serve” はどこへ行ってしまったんだ」と反対なさいました。私達が I serveに拘る主張をしているのは、一人一人の心のこもった奉仕「連れもて行こう」方式でない奉仕こそ「人作り」の肝心な要素がある「人作り」を志すならば、一人一人が心を込めた奉仕が、不可欠であるということからであります。

今年国際ロータリーの会長さんをしておられるグレン・エステス氏とはアメリカ人で古いロータリーアンで彼とは過去にそういう論争がありよく知っていて「人作り」の視点を外してはいけないと云っていたのですが、大勢のアメリカ人の中では議論になりませんで、ライオンズとのけじめがつかない奉仕団体になりつつあります。グレン氏が云われる人作りとはSelf development という英語があつてよく議論したものだと云ってくれます。又グレン氏は非常に思いやりのある方で、私がロータリーとはと何かと聞かれたら「思いやりの普及運動をやっている奉仕を志している人の集まりだ」と云います。彼はおもいやりにみちみちたアメリカ人でありまして、百周年の会長にふさわしい方です。ロータリーの組織は逆三角形でロータリークラブが上でガバナー、R I 理事、会長はいつも下にいて支える役割と本当に思っている方です。

ここでグレン・エステス氏が七つの事項をお願いして居られます。三つの主要項目と四つの準主要項目。まず第一がロータリー用語で云う「会員増強」です。この事については先程申し上げましたが、私が各クラブを廻りクラブ会長さんには同志を増やして頂きたいと申しております。この同志を増やすという意味も、地域社会のサイズ、環境、歴史によって変わって参ります。丁度百周年に当たり「適当なサイズ」と云う問題も含めて、各クラブがどんな存在であるべきかを、真剣に議論して頂く良い機会ではないかと思ひます

有田南クラブではこの増強に頑張つて居られますがこの百周年にあたつてもう一度過去を分析し有田南クラブの形を見つけて行って欲しいと思います。今お聞きしましたら家庭集会をずっと続けておられるそうですが、とても結構な事だと思います。胸襟を開いて語り合う会、その勉強会にロータリーの綱領の事を十分説明して欲しい、綱領は目的です。これを知らないという事は不思議です。

二番目はロータリー財団の支援をして欲しいという事です。財団と云えば又寄付かと思われ勝ちですが、財団の持っている有用なプログラムをよく再認識して欲しいということです。

奨学金制度も素晴らしく、一年間勉強に出ただけでどれだけ人間が成長されるか圧倒的な思いで感動をもって毎年聞かせて貰っています。今月の19日に帰国報告会に行つて参りました。会長さんからお聞きと思ひますが、その中の一人が当クラブに卓話に来させて貰う事になっています。

その他G S E補助金制度もあります。これ等をご活用して頂く事が大切です。その上で財政的援助をして頂きたい。プログラムの内容についても検討改良が必要、今年の規定審議会に2640地区よりロータリーセンタープログラムの提案を致しました。

第三のお願いは「ポリオの撲滅運動の完遂」であります。これらについては、又次の協議会でお話し致します。ご清聴感謝します。



中島 治一郎 ガバナー 公式訪問



中島ガバナー を囲んで



協議会風景

10月のプログラム

月 日	NO	ソング	例会	卓話者	備考
10/5	1326	君が代 奉仕の理想	結婚・誕生祝 ゲスト卓話	郷土の語り部 大峰 登 様	世界遺産の話し
12	1327	日も風も星も	会員卓話	坂井 敏雄 君	
19	1328	それでこそ ロータロー	ゲスト卓話	海南ハローワーク所長 栩野 信義 様	
26	1329	四つのテスト	移動例会	長崎 靖彦君	職業奉仕 定例理事会